



あお やま のり たけ
青山 昇 武

こうめいとう きいんだん
公明党議員団

本庁舎の照明のLED化の推進は

問 環境政策として、CO₂削減の為に本庁舎の照明をLED化にするべきであるが。

推進にあたり、財源の確保が大変になる。そこでリース方式を提案する。

初期費用がかからないことやLED化することで、電気料金の削減にもなり、リース期間終了後は、無償で譲渡されるため、引き続き使用が可能である。LED、リース化の考えは。

答 本庁舎については、従来型照明器具が設置されており、建築から既に33年が経過している。照明器具を更新する際には、高効率なLED蛍光灯器具への更新が考えられるが、初期費用や将来にわたり必要なランプ等の消耗品、メンテナンス費用、電気使用料等を全て合わせた経費を比較検討した上で、平成25年度以降に改修を行っていく。

リース方式による導入については、リース期間終了後、器具が無償で市に譲渡される特約を設けることにより、引き続き器具を利用することになるが、リース期間終了後の維持管理が市の負担となるので、長期間にわたるメンテナンス費用、電気使用料、これら全てを合わせた経費の比較も行い、導入の手法として検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 窓口業務について
 - ・「コンビニにおける証明書等の交付」を実施すべきと思うが
- 環境政策について
 - ・「生活かえる！エコエコ家族」事業の状況は
 - ・エコ・アクション・ポイント制度の導入についての考え方は
- 教育施設の整備について
 - ・学校トイレ洋式化の計画は
 - ・プレハブ校舎の整備は



▲本庁舎照明のLED化推進を



いわ わき けい いち
岩 脇 圭 一

いっ しん かい
一 津 会

市民参加の推進、市民活動支援の仕組みは

問 国が「新しい公共」を掲げ、三重県においてもその推進指針を策定するために円卓会議を開き、自治会・NPO・企業・行政等の代表者で議論をしている。

津市においても市民や企業・団体のまちづくりへの参加を推進し、その活動の基盤を強化していく必要がある。津市としての市民活動推進の方向性と支援のあり方について、「新しい公共」に向けた協働のあり方は。

答 津市では、市民活動センターを中心に市民活動団体の支援に取り組んでおり、当該センターに登録されている346の団体の現状を把握するため、現在、アンケート調査を実施し、データベース化を進めている。

市民活動団体からは、人材不足や情報不足などの課題も直接聞いており、調査の中でさらに課題を確認しながら、人や団体のつながりを支援し、課題解消に向けたネットワークの構築やスキルアップ講座の開催など、活動の促進を図っていく。

また、新しい公共ということが非常に注目されている中で、市民活動団体が本来の活動をしやすく、その結果として市民活動が行政と協働することを目指し、しっかりと市民活動促進のあり方を考えていく。

●その他の質疑・質問●

- 空き地・空き家の増加へのいち早い対策を
- もうかる農林水産業に向けた支援のあり方は
 - ・新しい担い手参入促進策は
 - ・新技術導入・資金面の支援は
- 執務室の配置について
 - ・援護課を本庁へ
- スポーツ・文化施設の管理運営についての基本的な考え方は
- 男性の育児参加推進を など



▲市民活動支援の拠点となる津市市民活動センター